

はじめに

本県では、石川のスポーツビジョンに基づき、平成 18 年度から体力・運動能力調査を全公立小・中・高等学校で実施しました。

調査によると、一部のテスト項目で上昇傾向を見ることができますが、依然として児童生徒の体力は低い状態にあります。特に中学生は、国の平均を下回る項目が多く、経年的にもそうした状況が続いています。また、生活習慣の乱れ等が指摘される現代において、体力と生活習慣との因果関係も認めることができました。

次代を担う子どもの体力低下は、少子高齢化が進む中で、将来の明るく活力ある社会の形成にとって、極めて憂慮すべきことであります。国も「スポーツ振興基本計画」を改訂し、3つの柱の1つに「スポーツの振興を通じた子どもの体力の向上方策」を掲げました。今後ますます、体力向上に対する取組が重視されるものと思います。

県では、平成 17・18 年度において、体力向上を「運動」「栄養(食)」「休養(睡眠)」の健康3原則から取り組む「いしかわっ子ライフスタイル向上推進事業」を実施してまいりました。推進校の取組から、よりよい生活習慣を築くことで、体力の向上に加えて学力調査の結果も同時に伸びたという興味深い成果も報告されました。

各学校においては、本調査や本報告書をもとに実態を適切に把握し、推進校の取組等を参考に課題と方策を明確にして、家庭・地域とも連携しながら取り組んでいただきたいと思います。そして、「知・徳・体」のバランスのとれた活力ある児童生徒が育成されることを期待しております。

終わりに、各学校において、新体力テストの実施及びデータ集計等にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

平成 19 年 1 月

石川県教育委員会
教育長 中西 吉明